

2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会
活動テーマ	災害時に活動できるリハビリテーション専門職の超早期人材育成の取り組み

 <p style="text-align: center;">第 19 回 BHELP 標準コース web コース</p> <p style="text-align: center; color: red;">受講生募集案内</p> <p>BHELP (Basic Health Emergency Life Support for Public) とは、「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日 時：2022 年 9 月 17 日 (土) 9 時 00 分～16 時 30 分 開催方式：web 開催 (使用ツール：Zoom* (https://zoom.us/)) ※通信環境の準備はご自身をお願いいたします</p> </div> <p>受講対象：医療・保健・福祉に関連する専門職及び、その受験資格を得ることができる教育機関の学生、防災業務に従事する行政職員</p> <p>募集人数：24 名 *大阪府内に在住または在勤している方を優先 *定員に達し次第申し込みを終了する場合がございます</p> <p>受講料：2,000 円 事前振込 *受講採否の連絡時に振込先をご案内致します。入金確認後、受講確定となります</p> <p>コース運営責任者：大垣 昌之 (所属：愛仁会本部) 主 催：大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会</p>	<h3 style="color: blue;">「災害時のメンタルヘルスケア」</h3> <p>～サイコロジカル・ファーストエイド(Psychological First Aid:PFA)～</p> <p>日時：2023年2月9日(木)19時～20時30分</p> <p>開催形式：web会議サービス「zoom」を使用します</p> <p>*ZOOM ID・PASSは申し込みいただいた方へお伝えします。</p>
<div style="background-color: #808080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <h3 style="margin: 0;">リハビリ専門職が防災を学ぶ意義</h3> </div> <div style="background-color: #404040; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <h3 style="margin: 0;">令和4年度 第 1 回 大阪JRAT研修会</h3> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日 程：2022年11月27日(日)10時00分～12時00分(受付9:30～) ◆ 場 所：ZOOMでのオンライン講義 ◆ 参加費：大阪府理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会会員は無料、学生無料、その他3,000円 	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 10px;"> <h3 style="margin: 0;">第 6 回 災害リハビリテーション 支援研修会</h3> <p style="margin: 5px 0;">大規模災害時、重度障害者が生き残る道</p> <p style="margin: 5px 0;">2023 年 1 月 28 日 (土) 13 : 00～14 : 30</p> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">主催：大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会 大阪・兵庫順徳損傷者連絡会 助成：JR 西日本あんしん社会財団</p> </div>

1 年を通じて、リハビリテーション専門職をめざす学生および、卒業後に現場で働くリハビリテーション専門職に対して、災害時支援活動の学習を行った。対象は、まったく災害時支援活動について学習したことがない人から、すでに現場で活動したことがある人まで様々であるため、いろいろな研修会の開催に取り組んだ。

まず、毎年行っている BHELP (避難所で医療職が支援活動を行うための演習を交えた実践的な研修会) をオンラインで開催した。また、PFA (現場活動を行うための心構えやメンタルケアを行うための基礎知識を学ぶための研修会) をオンライン講義で行った。学生に特化した研修会としては、災害リハビリテーション支援活動の基本的な知識に加え、リハビリテーショントリアージを演習スタイルで学びつつ、リハビリテーション医学の学びにもつながるような教材を作成して行った。この研修は、3 つの学校で行った。毎年行っている、頸髄損傷連絡会との共同研修会や、JRAT との共同研修会も行った。

年度末には、REHUG のファシリテーター養成研修会を行い、近畿 2 府 4 県から、ファシリテーター希望の方が大阪に集まり、25 名のファシリテーターが誕生した。いずれ、各地で REHUG を開催して、人材育成の一助になるであろう。

このように、9 回にわたる研修会を行うことにより、幅広く、また奥の深い人材育成となることが期待される、特に、学生には、アンケートにて、災害時にリハビリテーション専門職がこれほど役にたつとは思わなかったという意見が多く聞かれ、早期から災害時対応に対する意識をもってもらふ意義が大変友好であることをあらためて感じた。次年度以降も、継続して行いたいと思う。